

プリズム

紙文書の電子化を支援

アズコムデータ セキュリティ 代表取締役社長
さいとう けんご 齋藤 健吾氏

アズコムデータセキュリティ(本社:埼玉県吉川市、資本金3000万円、従業員52人)は、丸和運輸機関から独立して04年に設立。企業から文書類を預かり保管する事業を展開する。関東平野屈指の頑強な地盤を誇る秩父に築いた文書保管センターが自慢。「関東大震災級の地震が起きても平気」と胸を張る。12月には同じく秩父に敷地1万坪のセンターを新たに設置する。



注力しているのが、預かり文書のオンデマンド閲覧サービス。文書を預けた企業は、センター保管の文書を、必要に応じて1枚単位でインターネット経由で閲覧できる。「紙文書の電子データ化が叫ばれているが、一度にすべての文書を電子化しようと思ったらコストと手間が非常にかかる。このサービスならば、必要な文書だけを電子化して利用するので、初期費用を大幅に抑えられる」と利点を語る。

取引金融機関は埼玉りそな銀越谷支店。取り扱い金融商品の多様化や日本版SOX法対応を受けて、金融機関では紙文書が増加傾向にある。「特に、SOX法対応では毎期の報告書作成の際、各種書類をいかに素早く照会できるかがポイントになる。我々のサービスがお役に立てれば」と提案する。

